

## Coffra cruda

### 原物質

#### コーヒー

エチオピア原産のアカネ科の常緑樹。

野生状態では10m以上成長するが、栽培中は剪定し約2mの高さにすると規則正しく開花し、収穫も容易になる。

コーヒーは喜びと刺激の感情を誘発する能力を秘めている。

コーヒー飲料文化の故郷はイエメン。

15世紀、飲料としてのコーヒーは、イスラム教修道者が夜を徹して祈祷を続ける時に睡眠の欲望を抑えるために使われた。その後中世の中東社会では、コーヒーは社交と娯楽のためのものに。さらにヨーロッパへと伝わる。

17世紀頃の宮廷社会では、コーヒーは、優雅、上品、高い洗練度を示すための飲み物であったが、中産階級社会では、優れた感覚を与え、眠気を催す人を覚醒させ、能力を与え、ビジネス効率につながるための飲み物となった。労働も肉体労働から頭脳労働へと変わることになった。

ヨーロッパ人による植民地のコーヒー時代へ。コーヒーは今に続く南北間の経済的格差の象徴の一つ。



レメディは熟した実を使う

### 親和性

神経、循環、性器、精神、女性、右側

### モダリティ

悪化：音、接触、匂い、空気（外気・冷たい風）、精神的（感動・尽力）、過食、アルコール（ワイン）、夜、突然の情動（過度の高揚・過大な喜び）、麻酔薬・麻薬、口にお湯を含む

好転：横たわる、休息、口に氷水を含む

## ～コーヒーの飲用による影響や効果からレメディ像を考えてみる～

### <ワクワク、ウキウキ>

Coff.の人は、陽気で、喜び、よく笑います。おしゃべり好きで早口です。

しかし度が過ぎると、興奮したり、シリアスな時でもオーバーに笑ったりします。悲しみと陽気が交互に現れたり、泣いたと思ったらすぐに笑ったりと矛盾した症状が現れます。喜怒哀楽の激しい人です。また陽気な状態や過度の喜びや興奮から問題が起こります。特に過度の喜びから頭痛、顔の痛み、歯痛、下痢、子宮の炎症、動悸、不眠、失神などの症状が起きます。

CR19 - Mind; Loquacity; hasty(6) : 3 coff.

CR19 - Mind; Laughing; serious matters, over(45) : coff.

CR19 - Mind; Excitement, excitable; joy, from(6) : 4 coff.

CR19 - Mind; Cheerfulness; alternating with; moaning, groaning(3) : coff.

CR19 - Mind; Weeping, tearful mood; alternating with; laughing(62) : 3 coff.

CR19 - Generalities; Faintness, fainting; joy, from(2) : coff.

CR19 - Face; Pain; joy, from excessive(1) : coff.

### <集中できる>

高い集中力を持ち、簡単に理解することができます。特に夕方から夜にかけて頭はスッキリします。

Gibsonによると「記憶は極めて詳細に詩歌を引用できる能力で驚異的であるかもしれない」

脳の活動が非常に活発で思考力や討論力や精神力が高くなりますが、反動が現れ、集中力が難しく、ぼんやりと上の空になったり、眠くなったり、忘れっぽくなったりします。

高齢者の健忘症にも良いです。

(高齢者の認知症にはCoff.は入っていないCR19 - Mind; Dementia; old people, in(50))

CR19 - Mind; Concentration; active(132) : coff.

CR19 - Mind; Concentration; difficult(567) : 2 coff.

CR19 - Mind; Learning; easily(10) : coff.

CR19 - Mind; Memory; active; evening; midnight, until(1) : 4 coff.

CR19 - Mind; Forgetfulness; old people, in(19) : coff.

#### <アイデアが浮かぶ>

クリエイティブな仕事をしている人が多いです。多くの計画を立てたり、空想したり、夕方や夜には有り余るほどのアイデアが浮かびます。アイデアは急に浮かぶこともあります。空想は鮮明です。

精神の活動性や思考の働きからいつも同じ考えが繰り返し生じると、眠れなくなります

CR19 - Mind; Fancies; exaltation of; sleeplessness, with(42) : 4 coff.

CR19 - Mind; Fancies; vivid, lively(47) : 3 coff.

CR19 - Mind; Ideas; abundant, too(177) : 4 coff.

CR19 - Sleep; Sleeplessness; thoughts, from; idea repeated, same(8) : 3 coff.

#### <疲れがとれ、活力がみなぎり、仕事がかどる>

知的傾向が強く、頭の回転が早く、明晰な思考力を持ち、行動が早いので、仕事はできる人でしょう。真面目で夜遅くまで絶え間なく働く傾向があります。仕事の夢を見ます。しかし敏感さから何か起こるのではないかと恐れたり、仕事による精神的尽力から精神症状が悪化したり、疲弊します。うまくいかないと良心の呵責に苦しみます。

サンカランは 『Coff.の人は、自分が孤立している感じにならないようにするために、勤勉で生産的で創造的になって、他人のために何かをやるうとすることが必要になっている。慈悲深く、他人にとって何かしら良いことをしている場合にのみ自分が受け入れてもらえると感じている。そのため夜中まで起きて働き、何事かを作り出す』

CR19 - Mind; Activity; midnight, until(1) : 4 coff.

CR19 - Mind; Dreams; business, occupation, of(104) : coff.

CR19 - Mind; Prostration of mind; work, from(31) : coff.

CR19 - Mind; Fear; happen; something will(276) : coff.

CR19 - Mind; Remorse, repentance(122) : 4 coff.

#### <眠れない>

過度の興奮や喜び、頭脳労働、有り余るほどのアイデアは不眠の原因となります

Coff.は不眠のレメディとしてよく知られています。思いがけない知らせで不眠になります。

妊娠中、出産後、更年期の不眠など女性の不眠、歯牙発生時、新生児の不眠にも使われます  
(野口はコーヒーを飲むと夜中2～3時ごろ目が覚めてその後眠れなくなる)

CR19 - Sleep; Sleeplessness; fancies, images, from(40) : 3 coff.

CR19 - Sleep; Sleeplessness; news agg.; surprising(1) : 3 coff.

CR19 - Sleep; Sleeplessness; children, in; newborns, in(11) : 4 coff.

CR19 - Sleep; Sleeplessness; women especially; excited(5) : coff.

CR19 - Sleep; Waking; midnight; after; three am.(126) : 3 coff.

### <神経過敏、感覚過敏>

このレメディの中心です

ケントはこのように述べています

「このレメディは、全身の過敏さが特徴である。視覚、聴覚、嗅覚、触覚の過敏さ、痛みに対する過敏さ。この大きな感受性の強さには、時々驚かされる。痛みは騒音によって増大する。聴覚が非常に敏感で、音が苦痛になる。顔面の痛み、歯痛、頭痛、下肢の痛み、どこでも騒音によって悪化する。この薬には、考えられるすべての神経障害があり、それらはすべて騒音によって悪化する。ドアを開け、呼び鈴を鳴らすだけでも大きな苦痛を伴う。

このような患者は非常に敏感で、健康な人には聞こえないような音まで聞こえてしまう。マテリア・メディカの中で、痛みを伴う場合の聴覚の過敏さに近い薬は、おそらくNux vomを除いてはないだろう。このことを知らない医師は、別の部屋の声や騒音、子供の声で悪化する痛みに対してNux vom.に頼るのが一般的である。多くのレメディは騒音によって神経質になっている；騒音は頭痛を悪化させ、頭部にまつわる苦痛を悪化させ、人によっては神経質になってしまうのである。しかし、騒音によって悪化する四肢の痛みは特殊である。騒音が彼を混乱させ、痛みには耐えられないようである。」

CR19 - Extremities; Pain; noise agg.(4) : cocc., 4 coff., 3 nux-v., ther.

CR19 - Hearing; Acute; noise, to; distant sound(11) : 4 coff.

### <痛み敏感>

感覚の過敏から痛みを強く感じ、ほとんどの痛みには耐えられず、痛みを怯え、絶望に駆り立てられる。痛みで不眠になる。切断の痛みや灼熱を伴う激しい神経痛や分娩中のひどい痛みの緊急治療薬になる。

Mind; Sensitive, oversensitive; pain, to P190

CR19 - Mind; Sensitive, oversensitive; noise, sounds, to, agg.; painful sensitiveness to(15)

CR19 - Mind; Anguish; delivery, parturition; during; pain, from(2) : coff.

CR19 - Mind; Fear; death, of; pain; from(9) : 4 coff.,

### <頭痛>

カフェインは脳の周りの血管を収縮させるため、脳血管が収縮することによって起きる緊張型頭痛の場合、カフェインはさらに収縮させてしまうため、頭痛を悪化させることがある。またはコーヒーの利尿作用によって体内の水分量が減ると血液濃度が高まり、血行不良となり頭痛を引き起こすことがある。

Coff. は頭痛のレメディでもある。

ファタックより

頭部：まるで脳がばらばらになる、粉々になる、潰されるような感覚、あるいは釘がねじ込まれるかのような感覚。締め付けられる痛み。頭が小さすぎるように感じる。頭頂にヒビが入る音が聞こえる。

CR19 - Head; Pain, headache; pressing; asunder; brain(14) : 3 coff.

CR19 - Head; Pain, headache; plug, peg or wedge, as of a(75) : 4 coff.

CR19 - Mind; Despair; pain, with; headache(16) : 3 coff.

CR19 - Mind; Weeping, tearful mood; headache, with(36) : 3 coff.

### <寒さ、冷たさに敏感>

寒さに非常に敏感で、風や寒さに敏感である。患者は新鮮な空気を恐れる。寒冷な気候、冷たい空気から苦情が来る。(ケント)

(しかし、痛みは冷たいもので好転し、温かいもので悪化する！)

口や顎に痛みがあり、氷水を口に含むと楽になる。歯痛や顔面痛が顎の奥にある場合はこれに該当する。

歯の痛み；歯の裂けるような痛み、寒さにさらされたとき、感情、興奮、喜びによって起こる；動くと悪化する；氷または氷のように冷たいもので改善される；暖かい食物で悪化する。温かいお茶を飲むと痛みが増すので、飲めない。これは特殊である。特殊は一般と対照的である（ケント）

CR19 - Mind; Fear; air, of fresh(3) : 3 coff.

CR19 - Teeth; Pain, toothache; drinks; cold; amel.; ice-water or ice(1) : 4 coff.

CR19 - Teeth; Pain, toothache; drinks; warm; agg.; hot(20) : coff.

#### <他の症状>

\*頻尿：頻繁な、多量の排尿。無色の尿

\*心臓：動悸 <過剰な楽しみや驚きの後に。突然の血圧上昇

\*呼吸器：19世紀後半、喘息に対して最も評判の良い薬の一つとして処方されていた。ホメオパシーでも特に睡眠中の咳やひどい呼吸困難にも使われる

\*女性：閉経期以来の不調、病人の看護からの不眠、月経困難症（過度の仙痛様の痛みや大きな黒い凝血塊）分娩後の不眠、分娩時のひどい痛み

#### <マヤズム>

サンカランは

「スキーマ」ではTubマヤズム

「The Soul of Remedies」ではSycoticマヤズム

#### <ドラッグレメディ>

Cannabis indica（インド大麻）

Opium（アヘン）

Coca（コカの葉）

Chocolate（チョコ）

Piper methysticum（カワカワ）

#### ～コーヒーブレイク☕～

##### <コーヒーを愛した文化人、有名人>

\*バッハ：1日数十杯のコーヒーを飲んでいて、ドイツの「コーヒー禁止令」に反発し、歌曲「コーヒーカンタータ」を作曲。この作品はコーヒーに取り憑かれた若い娘とそれをやめさせようとする頑固な父との駆け引きを愉快に描いたもの。ちなみにバッハは大食漢、肥満、高血圧、怒りっぽい性格、ヘビースモーカーだったと言われている

\*ベートーヴェン：毎朝60粒の豆を正確に数えて、自ら豆を挽いて淹れていた。彼は「一杯のコーヒーはインスピレーションを与え、一杯のブランデーは苦悩を取り除く」という格言を残している

\*モーツァルト：妻の入れたコーヒーを飲むことが大好きだった。死の直前まで飲んでいて、

\*ヴォルテール（フランスの詩人）：1日50杯。

\*バルザック（フランスの作家）：1日80杯。1日に12時間以上仕事。

「胃袋の中にこの香り高い飲み物が入ると、コーヒーは素晴らしい活動を始める。まるで大歩兵部隊が迅速に機動しながら戦いを進めていく様に似ている。記憶は風のように駆け戻り、頭脳の論理的な働きは、施策の関連を保ちながら奇兵隊のように展開する。ウィットはたちまちでき上がり、原稿用紙は名文に充ちてしまうだろう」

\*遠山の金さん（遠山金四郎）：ワインや洋食を積極的に楽しみ、特にコーヒーが好物だったと言われている

\*高倉健：1日50杯

\*明石家さんま：大の缶コーヒー好き